

(様式第 1)

疑義照会(回答)票

照 会 日 平成 22 年 3 月 24 日
照会部署名 南関東ブロック厚年適用グループ
照会担当者 スタッフ職 杉田 一彦
連 絡 先

業務実施部署の長の確認 川合

(案件)

(受付番号) No. 2010-426	支払基礎日数等の取り扱いについて
------------------------	------------------

※ 受付番号は、品質管理担当部署において記入します。

(内容)

標記の件に関して、下記のとおり疑義があるため照会します。

【疑義 1】

夜間勤務者及び短時間正社員の支払基礎日数は、以下の事例 1～3 の通り、暦日単位で数えて差し支えないでしょうか。

なお、以前東京事務局より社会保険庁へ照会した際には、日雇特例被保険者の保険料の取扱い（昭和 29 年 2 月 1 日保文発 1280 号）と同様に解釈して、暦日単位で数えるべき、との回答を得ていることを申し副えます。

【疑義 2】

以下の事例 3 のような短日勤務の短時間正社員の定時決定について、4・5・6 月の各月の支払基礎日数が 17 日未満であった場合、従前の報酬月額を適用するのではなく、現に 4・5・6 月に支給された報酬月額を適用する等の方法により保険者算定を行なって差し支えないでしょうか。

なお、従前の報酬月額をもって保険者算定をした場合には、定時決定及び随時改定による標準報酬の変更が全く行なわれないため、資格喪失するまで資格取得時の標準報酬月額で継続されることとなり、実態とかけ離れた状況になる可能性が大きいいため、妥当な取扱ではないと考えます。



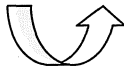

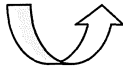









<事例2>

日をまたぐ夜間勤務者の事例における支払基礎日数の数え方

☆ 週3回（月・水・木）勤務で1回の勤務は8時間（22：00～翌日6：00）である者の平成21年4月の出勤は、以下の表の通り。

以下の表によると、1,2,3,6,7,8,9,10,13,14,15,16,17,20,21,22,23,24,27,28,29,30

日の合計22日に対して給与が支給されているため、4月分給与の支払基礎日数は22日となる。















火	水	木	金	土	日	月
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
22時出 6時退	22時出 6時退				22時出 6時退	
						
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
22時出 6時退	22時出 6時退				22時出 6時退	
						
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22時出 6時退	22時出 6時退				22時出 6時退	
						
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
22時出 6時退	22時出 6時退				22時出 6時退	
						
29日	30日	5月1日				
22時出 6時退	22時出 6時退					
						

<事例3>

短日勤務の短時間正社員の事例における支払基礎日数の数え方

☆ 週3回（月・水・木）勤務で1回の勤務は8時間（9：00～翌日18：00）である者の平成21年4月の出勤は、以下の表の通り。

以下の表によると、4月の1,2,6,8,9,13,15,16,20,22,23,27,29,30日の合計14日に対して給与が支給されているため、4月分給与の支払基礎日数は14日となる。

火	水	木	金	土	日	月
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
9時出 18時退	9時出 18時退				9時出 18時退	
						
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
9時出 18時退	9時出 18時退				9時出 18時退	
						
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
9時出 18時退	9時出 18時退				9時出 18時退	
						
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
9時出 18時退	9時出 18時退				9時出 18時退	
						
29日	30日					
9時出 18時退	9時出 18時退					
						

(回答)

夜勤勤務者で日を跨いで労務に就いている場合の支払い基礎日数については、当該者の給与の支払い（月給、日給、時給）に応じて厚生労働省より見解が示されているので、「【厚年指 2011-174】定時決定及び随時改定の取扱い」をご参照されたい。

また、短時間正社員はフルタイムの正社員より一週間の所定労働時間が短い正社員であり、平成18年5月12日庁保険発第 0512001 号通知による短時間就労者と同様に扱うこととなる。

回答日 平成23年5月31日

回答部署名 厚生年金保険部適用企画指導G

回答作成者 田畑 奈津子

連絡先

メールアドレス

主管担当部署の長の確認

(軽微なものについてはグループ長)

坂東